

2022 ICU 世界ジュニアチアリーディング選手権大会
2022 ICU 世界チアリーディング選手権大会 日本代表選考会
【チアリーディング映像撮影および評価方法（自由演技・基礎技術）に関して】

【撮影】

①自由演技、②基礎技術の2本の映像を提出すること。各詳細は、以下を参照すること。

<①自由演技>

- チアクライテリアは演技の最初または中間に実施すること。発声は禁止。30秒以上の曲もしくはコールを録音したものを使用すること。
補足：チアクライテリアと音楽パートの間は20秒以内とし、明確に空けること。
音楽パート：2分15秒以内
- 映像撮影の際には、チアクライテリアから音楽パートの間を一時停止せずに撮影すること。競技ルールに則り、演技フロアに入場してから退場までは4分以内で行うこと。

<②基礎技術>

- 試技ビデオを参照し、該当するレベルの基礎技術5種類を行う。スコアシートに記載されている技を上から順番（スタンツ→トス）に行う。
- スキル毎に複数基同時に行い、90秒以内に続けて2回実施する。スキルとスキルの間は3分以内とし、連続して5種類の技を実施すること。編集は不可。
- 試技の際、発声できるのは選手以外で、かつ1人までとする。（選手内及び複数の発声は禁止）
- 全基、前方を見て2回実施。各基の技が明確に審査できるように、フォーメーションを工夫すること。カメラから遠い、基が重なっているなど、審査ができない場合は、実施なしと判定する場合があるので注意すること。

<マット環境について>

- 安全に配慮し、チアリーディング競技用マット(9枚)の使用を推奨する。指定のマットで行えない場合には事前に連盟に連絡すること。（連絡先：info@jfscheer.org）

【映像提出】

- ギガファイル便での提出時、チアリーディングに限り、1チームが①自由演技と②基礎技術の2演技をまとめてアップロードすることが可能。
（提出に関するその他の事項は「選考会要項」を確認すること）

【選考方法】

- 2種類の映像(自由演技 75%、基礎技術 25%、合計 100点)で採点。最高得点を取得し、かつ70点を超えたチームを年齢編成(All Girl・Coed)ごとに選出し、選考委員会が決定する。
- 自由演技の使用ルールは、2021 ICU World Cheerleading Championships Divisions Rules & Regulations とする。

※ 準備期間を考慮し 2021 年ルールを選考会でも採用。(2021 JAPAN OPEN 競技規則は 2021 ICU ルールを元に作成)

【評価方法】

<①自由演技>

ICU スコアシート(2021 JAPAN OPEN 同様)100 点満点を 75%へ換算したものが自由演技得点となる。

<②基礎技術>

1. スコアシートは各レベル (Median、Advanced、Elite) ごとに作成したものを使用する。
※ 2022 代表選考会(チアリーディング基礎技術審査)スコアシート参照
2. 各スキル 10 点で評価、50 点満点を 100 点換算後、その 25%が基礎技術得点となる。
3. 全てのスキルの点数配分は同じとする。
4. 演技人数に対して最大基数での実施を基準とする。
(16~19 人の場合 4 基、20~23 人の場合 5 基、24 人の場合には 6 基)
最大基数での実施ができない場合には、少ない基数の実施でも可。
注) Coed のスタイルの試技に関しては最大基数を以下の通りとする。
(16~17 人の場合 5 基、18~20 人 6 基、21~23 人 7 基、24 人 8 基)
5. 同スキル実施の際のメンバー変更は認められないが、それぞれのスキル (5 種類) でのメンバー変更は可。
6. シンクロ性は評価しないが、実施は全ての基が同時に行うこと。
7. 実施は 5 つの技を順に指定時間内で行い、ビデオの編集は不可。